



提案団体交渉  
終了!

# 444Mの事象を踏まえた対策が盛り込まれる

## 2018年度 冬期の取組みについて

新潟地本は10月10日に提案団体交渉に臨み、新潟支社より「2018年度 冬期の取組みについて」の提案を受けました。444Mの事象を受けて駅間停車対策が新たに盛り込まれたほか、線区別優先順位の1位に運輸区・車両センター構内が加わるなど、この間の組合側の主張も一部が反映された一方で、実施に向けては課題も見える内容となりました。

### 冬期体制の期間・社員運用計画～昨年と同様の内容～

- ★ 冬期体制は例年通り12月15日から。テンポラリースタッフの雇用期間を12月1日や20日からとした駅もあるが、現場・駅長と打ち合わせて決定した
- ★ 冬期前に降雪があれば、支社企画部門が対応する。テンポラリースタッフについては昨年度と同じく、日々雇用で対応する考え
- ★ 社員運用計画は昨年度と同じ。運用数は「冬期体制において標準数に加え必要となる要員数」であり、現在員が標準数より多い場合には提案した運用数と送り込む人数は一致しない



### 簡易型乗用除雪機械の導入～教育や運用方法に未確定部分を残す～

- ★ 昨冬は本線の除雪が終わっても車両センターの除雪が終わらずに入出区が出来ない事象が発生したため、線区別優先順位の1位に運輸区・車両センター構内を加えた
- ★ 簡易型乗用除雪機械「とらん丸」計5台を配備。駅間に停車した列車の直前まで除雪を行い早期救済することが目的だが、有効活用として車両センター構内等の除雪に使用する
- ★ 「とらん丸」の使用は現場判断により保線技術センターや車両センターの社員で行う。具体的な教育や運用については未定。グループ会社社員も扱うのかも今後検討

### 今冬期における特徴的な取組み～労使での議論を一部反映～

- ★ E653系の窓ガラス入疵対策として「しらゆき」全編成に床下保護フィルムを貼付する
- ★ 新潟駅の高架化に伴い、大雪時には分割休止や直通運転休止などの運用変更を行う
- ★ 雪害による倒木が予想される場合は関係箇所と指令が協議し迅速な警戒体制を取る
- ★ 長岡駅消雪用3号井戸堀替えを実施、上越線塩沢駅などに軌間内消雪シートを新設する
- ★ 駅間停車発生時はお客さま全員の同時救済に拘らず、行政機関や自治体との連携を図る

現場第一線からの視点で冬期に向けた議論を創り出そう!